



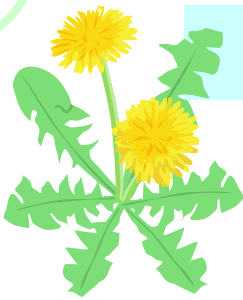
地域医療連携ニュース

4月 臨時号

東京都清瀬市竹丘3-1-1

TEL 042-491-2111(代) FAX 042-494-2168

<http://www.hosp.go.jp/~tokyo>



～ 医療連携時代の課題 ～

地域連携医世話人会 副代表

医療法人社団 中島医院 院長・理事長

中島 美知子

08年4月からの後期高齢者医療制度も始まり、21世紀わが国の医療は激動の中にあります。特に医療連携による全人医療の必要は重要性を増しています。人々の生き方や価値観の多様化と権利擁護のため、一病院一診療所の専門能力を超えたネットワークでの医療・ケアは、これからの医療形態の基本となっています。

医療法人社団中島医院では24時間体制の在宅療養支援診療所として在宅総合医療、在宅ホスピス、内科、呼吸器科、心療内科を推進しています。東京病院との連携では画像診断、呼吸器科入院、消化器精査や大腸癌手術、神経難病診断や入院、リハビリ、循環器では最新の64列冠動脈CT等幅広くお世話になっています。患者や家族の方からも敏速な受け入れや優しい対応等良いフィードバックがあり、安心して誇りをもって連携させていただいております。

今後は医療連携の“How”が重要です。多くの良い連携の中で、最近某大学病院から癌末期も最重症者を中途半端な方法で当院の在宅ホスピスにご紹介頂き、問題を体験しました。本年4月からの後期高齢者医療制度では、診療計画書に初めから連携医療機関名と緊急時連絡先まで記入する義務が生じています。今後の課題は皆で協力して“患者中心のよりきめ細かな良い連携をどう構築推進するか”であろうと実感しています。東京病院が今後エリアの医療連携の核の一つとして益々発展されることを、連携医副代表として期待しております。



4月より、2つの新しい診療科を開設いたしました。

アレルギー科

【診療日】 月、水、木、金曜日の午前

平成20年4月より、国立病院機構東京病院にアレルギー科を新設いたしました。同時に東京病院は、日本アレルギー学会教育認定施設に指定され、今後アレルギー学会専門医の資格の取得を希望する医師の研修を行う予定です。

東京病院のアレルギー科は、日本アレルギー学会指導医の庄司俊輔と、同学会専門医の大島信治の両医師が担当しますが、両名とも東京大学医学部物療内科（現呼吸器内科及びアレルギー・リウマチ内科）出身の内科医師であり、専門領域は主として気管支喘息ですが、その他にもアレルギー性肺疾患などの呼吸器疾患、アレルギー性鼻炎及び花粉症、そして薬物アレルギーや食物アレルギーなど、あらゆるアレルギー疾患を診療いたします。アトピー性皮膚炎や蕁麻疹をはじめとするアレルギー性皮膚疾患についても、種々のアレルギー検査を行った上、必要に応じてアレルギー専門皮膚科医へのご紹介を行う予定です。

アレルギー疾患は、現在は「国民病」とも称され、統計によれば3割から5割の国民が罹患していると言われていています。アレルギー疾患の診断や治療については、どうぞ東京病院アレルギー科にご相談ください。

泌尿器科

【診療日】 月、木曜日の午後

独立行政法人国立病院機構東京病院では、平成20年4月7日から泌尿器科外来を新規に開設いたしました。外来診察時間は、月曜・木曜日の午後1時30分から4時30分までで、泌尿器科専門医が診療にあたります。

当科では、腎癌・膀胱癌・前立腺癌などの尿路性器悪性腫瘍、前立腺肥大症、尿路結石、尿路感染症、神経因性膀胱、尿失禁、男性不妊症、副腎腫瘍等の泌尿器疾患全般を対象といたします。また、手術や入院加療が必要な場合には防衛医科大学校病院等に紹介し治療を行います。前立腺肥大症でαブロッカーを投与しても症状の改善しない患者さん、検診でPSA高値を示した患者さん、尿失禁に悩まされている患者さん等、ご紹介いただければ対応いたしますので、ご紹介を宜しくお願いいたします。

なお、血液透析には対応しておりませんので、ご了承ください。

※上記診療科についての予約・お問い合わせは地域医療連携室(TEL 042-491-2934)まで



東京病院 地域医療連携ニュース 4月臨時号

平成20年4月16日 発行

発行元 国立病院機構東京病院 地域医療連携室

発行責任者 東京病院院長 四元 秀毅

編集責任者 地域医療連携室長 茅野 眞男